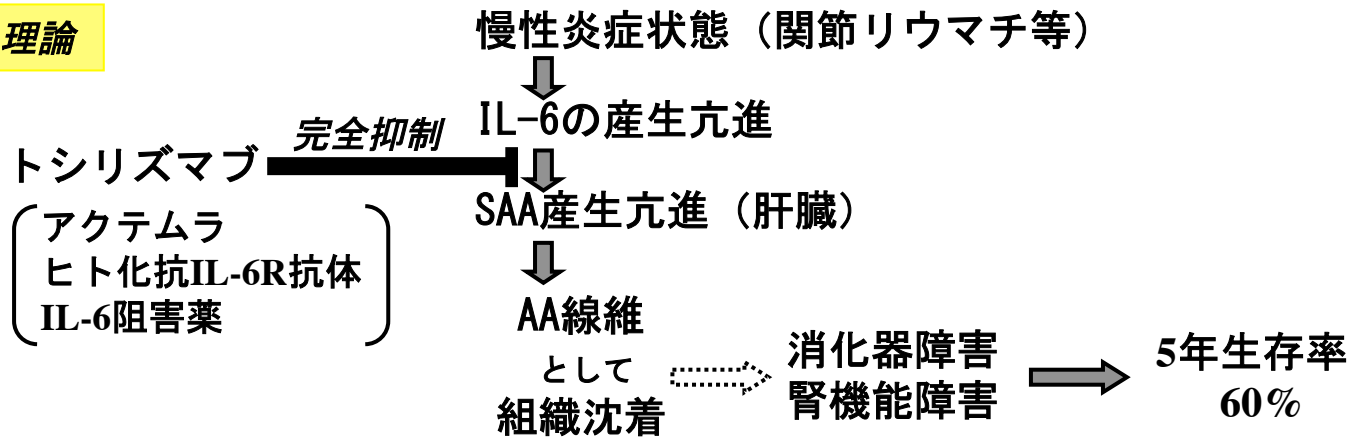


# IL-6阻害によるAAアミロイドーシスの臨床研究

研究分担者：大阪大学先端科学イノベーションセンター 吉崎 和幸

## 理論



## トシリズマブを用いた医師主導型臨床研究 (AAアミロイドーシス臨床研究会)

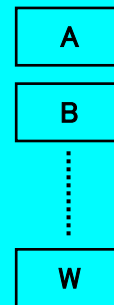
### 研究期間

研究開始	登録開始	登録終了	観察終了	解析終了	研究発表	研究終了
↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
2008.6	2010.9	2012.9	2013.1	2013.3		

### 研究組織・構成

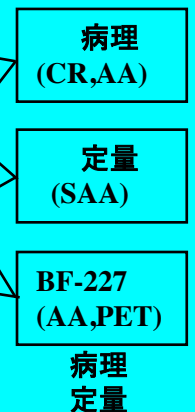
会長 1名  
理事 数名  
顧問 1名

#### <治療施設>

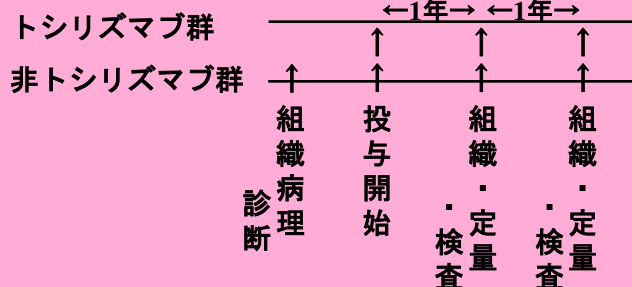


治療  
経過観察  
検査データ

#### <検査施設>



### プロトコール



## 解説

1. IL-6がアミロイドAの前駆物質である血清アミロイドA (SAA)の産生に中心的に作用することを証明した。
2. ヒト化抗IL-6R抗体(トシリズマブ、アクテムラ)がIL-6作用を阻害し、慢性炎症性疾患におけるSAA産生を完全に抑制することを示した。TNF- $\alpha$ 阻害薬では不十分であった。
3. 2008年 (H20年) AAアミロイドーシス専門施設により組織されるAAアミロイドーシス臨床研究会を発足させ、アクテムラによる治療研究を開始した。
4. 登録者数35名で現在臨床研究を継続している。消化管におけるアミロイド線維の沈着変化、同組織のAAアミロイド量の変化を第1評価基準とした。